



産産減と糸價高を

見込んだ晩秋の繭高

果して豫想が外れぬか
注目される十一月、二月の糸況

遠近地方の晩秋繭は意図外の昂騰に養蚕家を狂喜せしめ併かも産産の相馬郡に至つて買需六圓を超えた異常な戻上りを以て終りを告げた採算はづれの製糸家の買入れは繭の減産が全国的で二割一分、本縣下で二割（濱通り）は意図では増収であつたが掃立減による一割の減収を豫想するのと米穀財界に秋景氣が必ず来るとの見越から原料準備に主力集中せるもので果して見込みが外れぬかどうか貧弱な製糸家に悲愴な愛目を見る様なことはありはせぬか過分な繭を預る倉庫側に警戒を要しはせぬかと囁ひられてゐるが平市片倉製糸の現状に窺へば

産業組合擴充協議會

戦時産業組合活動その他

重大時局下の産業組合活動に關し郡支部長並に指導員會を福島市に開かれたことは別項所報の如く同會の協議に基づいて郡下産業組合長並に専務理事を招集する會議は濱通りでは二十八日相馬郡（中村町）にて二十九日双葉郡（富岡町）にての日程で石城郡は三十日午前九時から平市マルトモ

偽印の拂戻に縮尻る

郵便貯金通帳泥に天網

茨城縣真壁郡那智村の那智館四六當時件所不定無職永盛秀雄（三〇）は窃盗で本年九月十二日平野に検査平區から休刑十ヶ月四年間の執行猶豫中のものであるが十六日泥棒を目的に石城郡好間村上好間古河炭礦小館田中飯塚方に使役を請ひ翌十七日午前十時半同會宿所内の同宿者佐川秋夫所有現

ラウンド・テーブルは圓卓の事、昔英國のトサ王が優劣の服をなする爲めに圓卓に座すの武士と座つたのが語原なそう、我が首相官邸の内閣會議にも圓卓會議と云ふのがある。

鯨川堰水利の

議員總選舉

石城郡鯨川堰水利組合會の議員總選舉は十一月十五日五日開選に當り十一月十日別を以て行はれるが議員二十四名で町村の定員と現議員を兼ねた候補の如く時局柄何れも無用の競争を避くべく中合せ中である

青年徒歩旅行

講演と映画

鐵道では「青年徒歩旅行に關する講演と映画の夕」を明二十一日午後六時から平市公會堂に開演映畫は左記の如く講

演は東鐵局運輸部の茂木慎雄氏が講師である
▲青年上層に歩け（第一部）
二巻）同第二部（二巻）▲は（他）以上

戦地 任地到着間もなきの便

負傷申譯無之候

市民各位の敬送と共に貴台を初め皆様の御激励と萬歳の聲に送られて出發中支津浦線方面に勤務することになり内地より激戦の第一報を載せましたのは貴台の御手紙でした、御蔭を以て無事勤務いたして居りました南東線の勤務を命ぜられ着任早々構内作業中誤つて左足腰の真傷をいたし早速城内の〇〇兵站病院に入院内地歸還の身となり病院を轉々いたし部下表記の病院に参りました療養中ですが早速御知らせ申上べきが本意でしたが短かき月日の中に歸還致しまして皆様の御期待に添ふ事を得ず自然お知らせする事も氣おくれ致して居りました處今回御丁寧なる御見舞に接し感激に堪えせん、金成様、地洩様、青木様何れも皆御元氣の御様子なるに自分のみが甚だ残念の次第です、然し何事も天命と存じまして今後健後の繼りに邁進する

毛布献納七枚

毛布献納七枚

石城郡草野村の星野こと、猶狩りめ、坂井つる、前田はるの、芳賀まつのおさん五名と渡邊民治、渡邊重彌二氏七名は戦線にある勇士の防禦用として毛布各一枚を献納方向村役所に寄託した

縣下産組の

郡支部長會

並に指導員會議
石城郡各郡支部長會議は昨二十日福島市信連會館に於て開催、石城郡から青沼録太郎氏出席したが今二十一日は同じく信連會館に郡支部指導員會議を開き支部長會議と同様非常時下に於ける組

ん級一卷白根を越えて二巻の活動その他につき協議を遂げ近々各郡組合を開催の筈であるが石城郡會から木田主事補出席した

縣社昇格

最初のお祭り

草野の愛宕神社
石城郡草野村下神谷字宿の丘上に祀られる愛宕神社は郷社から縣社に昇格せる最初の例祭を來る廿四日執行されるが同社はもと花園神社（學師佛）を相殿せる所謂郷社神道で別當と神主がこれに仕へてゐたが神佛混淆を許さざるに至り愛宕を離して郷社に列した同地草創以來の舊社として知られ子育ての神をもつて遠近に著名である来る大祭には縣社昇格の歡びに合せて國威宣揚、皇軍の武運長久祈願等盛大に執行の由で郡小學校児童の奉納劍道試合、舞臺資料展覧會、打擲煙火その他の余興があると云ふから一層の賑はひを見るであらう

ダイナマイト泥

ダイナマイト泥

石城郡好間村上好間の大畑炭礦坑夫元木太吉（三）は去る十四日坑内作業に使用せる爆薬の中からダイナマイト三本雷管四個導火線二本（四尺余）を自宅に持参隠匿同坑夫三浦寅雄（三）は去る九月一日使用中からダイナマイト一本

史家の態度を明にす

湯本の二史蹟に對して

（特に湯本の正義町民に與ふ）
勿來學人
斯る秋、秋を果こそ、郷土有史以來の不滅事業と思惟し、先づ一應比佐氏に之を講案、意見を要めて、單り

火線二本を自宅に持ち歸り隠匿なしてゐたるを發覺平野に檢舉された

坑夫の舊患露見

石城郡好間村の北好間三反田日曹小田礦坑夫永山大籠（四）は昨年八月から本年六月に至るまで同村岡田川炭礦に働いてゐた當時前後數回に亘つて坑内から鐵屑類計九圓分を窃取したること發覺して平野に檢舉された

柿の共出協議

柿の共出協議

石城郡大野村農會では收穫期となつた柿の共同出荷につき今二十一日午後一時村役場に幹部會を開き郡農會から青山手野臨席した

魁文堂

魁文堂

玉泉堂の書道筆
古梅園の書道墨
電話三三三
電話三三三

常時同氏はイタク健康を害して七月下旬より九月中旬まで郷里の自宅に前後二ヶ月間在つて、非常時をよそに専ら静養恢復に力められてゐたので、●之が問題と他の或る用件を兼ねて八月と九月に各回下野、同氏を自宅に訪ねて其の際右の主旨を提議したわけである。

柿の共出協議

石城郡大野村農會では收穫期となつた柿の共同出荷につき今二十一日午後一時村役場に幹部會を開き郡農會から青山手野臨席した

魁文堂

玉泉堂の書道筆
古梅園の書道墨
電話三三三
電話三三三

常時同氏はイタク健康を害して七月下旬より九月中旬まで郷里の自宅に前後二ヶ月間在つて、非常時をよそに専ら静養恢復に力められてゐたので、●之が問題と他の或る用件を兼ねて八月と九月に各回下野、同氏を自宅に訪ねて其の際右の主旨を提議したわけである。

農業方面

南會津荒海の山村道場(上)

重六時局下に若人達が熱力汗の精進

全國たゞ一つの山村道場本縣南會津郡荒海村にある同道場は莫大なる時局下から戦後へかけての山村経済更生指導を双肩にかけて新しい希望に満ちた四十名の若人達が熱力と汗との一日々を、

十四棟の建物と畜留林二百町歩、田畑苗圃八町歩、放牧地九十町歩、採草地十町歩、栗改良林三町と馬四頭乳牛二、和牛一、種豚五、緋羊三〇、羊二、狐三、狸四、兎一〇〇、鶏二〇〇

など多くの家畜とともに勤勞精神の涵養を強調しつゝ、専ら修練生活を續けてゐる。夏は四時、冬は五時、東天の漸く白む頃常番のたゞく徑四尺もあらず太鼓の音が日本精神を打込むかのやうに胸にまでしみ込んで響き渡ると修練生は元氣漲満床を蹴つて起き出て鈴木場長を先頭に朝の禮拜をおこなふ。二拜二拍子黙禱、場長の清らかな祝詞、君が代合唱、國旗掲揚の時一齊に上衣をぬぎ若人の熱血溢るゝ健康美は朝の清浄な空氣の中に躍動する。

【報徳訓】の合唱で禮拜が終り分擔區の掃除、家畜の施飼が済むと六時半朝食となる。場長の音頭で「啓とらば大地御代のおん恵み君と親との恩を味ひ」と唱和して米四麥六の飯に味噌汁と漬物等の質素なもので(更に月に三度の特別粗食日がある)食事が終ると幾分間は午前中に學科を行ふが通常は農場實習林、炭山、畜舎、採草地、農産加工、木工等の朝の禮拜の時に場長から聞かされた各分擔の作業に就く。

ある(食事が終ると幾分間は午前中に學科を行ふが通常は農場實習林、炭山、畜舎、採草地、農産加工、木工等の朝の禮拜の時に場長から聞かされた各分擔の作業に就く。

牛も豚も優良品の自慢

平市 田町
肉の御 三三三屋
用命は 三三三屋

◇一般印刷物も
御引受け致します
新しいわき新聞社

山野邊藥局

平市 五丁目角

四〇〇瓦入 五十圓
八〇〇瓦入 九十五圓
四〇〇瓦入 二圓半
四〇〇瓦入 四圓

和洋銅鐵、金物問屋

店商屋釜

九九・九電

産科 院長 **木村寅次郎**
婦人科 醫學博士 **内木宗八**
外科 藥劑師 **大岩俊雄**

平市新川町九一
入院隨意 **木村病院**
病室完備

根本

平市南町
根本 莊次郎
根本 貞雄

電話三四番

(入院隨時)

皇軍戰勝二冬品會の第一線に立つ

ツルヤ 電話一四〇
豐富陳列 漸新型

子供帽子 中折帽子

元詰 G・H・N 元詰
ゴルフポートワイン
1・20

婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です

藤沼醫院 平市紺屋町 電五〇七

平田町(三丁目裏川岸通)
明雲堂眼科醫院
電話六六九番
入院應需(自炊の便あり)

新時代の要求

時局事業に等外看護婦を特設いたし皆様の御用向へ身元確實なる婦人を派出致します。

平市南町 電話三〇七
平看護婦會

御手不足の御家庭 輕い御病人の付添 妊婦産婦の御家庭

表代城磐 酒銘

味美經濟

油醬ルマヤ

社會名合崎山 番十話電

平病院 (平市元共濟病院跡) 電話六四一番

院長 醫學博士 **鈴木定藏**

内科 部長 鈴木定藏
小兒科 部長 佐藤幾要司
皮膚泌尿科 部長 高橋俊幸
物理療法科 部長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に従事す(急患は此の限にあらす)